

予算決算常任委員会議事日程

令和元年6月12日（水）午前10時00分開会

議事日程

- 第 1 補正予算議案の詳細説明
- 第 2 補正予算議案の全体質疑
- 第 3 補正予算議案の審査報告書について

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（17名）

委員長	廣 田 清 実	委員			
	藤 原 信 悦	委員		吉 田 喜 博	委員
	小笠原 佳 子	委員		谷 上 知 子	委員
	村 松 信 一	委員		高 橋 安 子	委員
	水 本 淳 一	委員		赤 丸 秀 雄	委員
	昆 秀 一	委員		藤 原 梅 昭	委員
	長谷川 和 男	委員		川 村 よし子	委員
	小 川 文 子	委員		山 崎 道 夫	委員
	廣 田 光 男	委員		高 橋 七 郎	委員

欠席委員（なし）

矢巾町議会委員会条例第19条の規定により出席した説明員は次のとおりである。

町 長	高 橋 昌 造 君	副 町 長	水 本 良 則 君
総務課長 兼防災安全 室長	佐 藤 健 一 君	企画財政課長 兼未来戦略 室長	吉 岡 律 司 君

会計管理者 兼 税務課長 兼 出納室長	花立孝美君	住民課長	吉田徹君
福祉・子ども 課長兼子育て 支援センター所長	浅沼圭美君	健康長寿課長	田村英典君
産業振興課長	菅原弘範君	道路都市課長	佐々木芳満君
農業委員会 事務局長	高橋保君	上下水道課長	田村昭弘君
特命担当課長 (土地)	藤原道明君	特命担当課長 (福祉)	村松徹君
教育長	和田修君	学務課長	田中館和昭君
社会教育課長 兼公民館長	浅沼仁君	学校給食共同 調理場所長	村松康志君
代表監査委員	吉田功君	農業委員会会長	米倉孝一君

職務のために出席した職員

議会事務局長	野中伸悦君	係長	藤原和久君
主査	佐々木睦子君		

午前10時00分 開会

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 会議に先立ち委員の皆様にお諮りいたします。

本委員会の傍聴希望者には、矢巾町議会委員会条例第17条第1項の規定により傍聴の許可をしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 異議がないようなので、許可することに決定いたします。

ただいまの出席委員は17名であります。定数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

ただいまから本日の予算決算常任委員会を開会します。

直ちに予算決算常任委員会の会議に入ります。

議事日程の報告

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付しております。

これより本日の日程に入ります。

日程第1 補正予算議案の詳細説明

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 日程第1、補正予算議案の詳細説明を行います。

本日は、付託を受けた議案第67号 令和元年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）について詳細説明を受けたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） ご異議がないようなので、また補正予算案の詳細説明に当たっては、経常的な部分及び節等については極力省略し、特徴のある部分について重点的に説明を願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） ご異議がないようなので、そのように進めたいと思います。

それでは、議案第67号 令和元年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の詳細説明を求め

ます。

吉岡企画財政課長。

○企画財政課長兼未来戦略室長（吉岡律司君） 議案第67号 令和元年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の詳細について事項別明細により説明いたします。

11ページをお開きください。今回の歳入補正につきましては、新規の項目と主要な項目について説明いたします。説明に当たりましては、款、項、項の補正額の順で行います。歳入、12款分担金及び負担金、1項負担金52万2,000円、これは矢巾町、滝沢市、八幡平市、雫石町で子育て支援員の研修事業を伴うための負担金でございます。

14款国庫支出金、1項国庫負担金446万円、これは介護保険料の軽減拡大に伴う国庫負担金の増であります。

14款国庫支出金、2項国庫補助金380万1,000円、こちらにつきましては、緊急風疹抗体検査等事業の拡大に伴う補助の増であります。

15款県支出金、1項県負担金223万円、こちらにつきましては、14款国庫補助金、1項国庫負担金と同様に介護保険料の軽減拡大に伴う県負担金の増であります。

ページを返していただきまして、17款寄附金、1項寄附金200万円、こちらにつきましては、一般寄附がございましたので、計上しているところでございます。

18款繰入金、2項基金繰入金1億3,526万9,000円、こちらにつきましては、財政調整基金の繰入金となりまして、これによって補正後の財政調整基金残高は5億7,764万4,000円になります。

20款諸収入、4項雑入400万7,000円、こちらにつきましては、3月27日交付決定がございました消防団の雨具整備に係る助成金100万円、4月5日交付決定がございました消防団のゴーグル等の整備に係る助成金30万4,000円、4月19日に交付決定がございました体育館トレーニング室のトレーニングマシン整備の助成金270万3,000円がございました。

続きまして、歳出に参ります。15ページをお開き願います。2款総務費、1項総務管理費、補正額はページを返していただきまして16ページ、8,345万円。主なものといたしましては、財産管理費の非常用バッテリー入れかえ工事、喫煙所撤去と授乳室の設置、喫煙所設置に伴う工事費を計上しております。また、6目の企画費の中で都市計画事業等組合からの土地購入費、こちら7,600万円を計上しております。

続きまして、3款民生費、1項社会福祉費1,038万5,000円、こちらにつきましては、3目の老人福祉費、介護保険料拡大に伴いまして、繰出金の増となります。

ページを返していただきまして、6款農林水産業費、1項農業費、補正額は19ページにあります103万8,000円、主なものといたしましては、農業祭実行委員会の負担金を計上しております。

19ページ、7款商工費、1項商工費130万1,000円、主なものといたしましては、夏まつり実行委員会の負担金を計上しております。

8款土木費、2項道路橋梁費、補正額はページを返していただきまして1,278万6,000円、主なものといたしましては、道路新設改良費で南矢幅踏切の改築に伴う歩道設置に係る設計委託を計上しております。

次に、8款土木費、5項住宅費、補正額は21ページの773万8,000円でございます。主なものといたしましては、三堤住宅の網戸の設置でございます。

続きまして、10款教育費、2項小学校費2,300万8,000円。こちらにつきましては、パソコンのOS、ウィンドウズ7のサポートが2020年1月に終了することに伴いまして、ウィンドウズ10に移行しなければならないのですが、予算編成時から全庁的にその移行の準備をしております。一般会計は、単にOSの移行のために当初予算に計上してございましたけれども、学校につきましては、周辺機器の入れかえが伴うために、その精査が必要であるため、今回補正をお願いするものであります。

ページを返していただきまして、10款教育費、5項保健体育費399万円、こちらにつきましては、体育施設費の中で体育館のトレーニング室のトレーニングマシン3台の購入費を計上しております。

以上で議案第67号 令和元年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の詳細説明を終わります。よろしくお願いたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） これで議案第67号 令和元年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の詳細説明を終わります。

日程第2 補正予算議案の全体質疑

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 日程第2、補正予算議案の全体質疑を行います。

お諮りします。歳入歳出を一括して質疑を行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 異議がないようなので、一括して質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、事項別明細書のページをお知らせ願います。また、審議のルールであります。回数制限を設けない一問一答方式としますが、簡単な質疑の場合は、何点かまとめてもいいことにします。

それでは、質疑を行います。質疑ございませんか。

昆秀一委員。

○（昆 秀一委員） 16ページのコミュニティ推進事業の増、ごみ集積場に関してなのですが、多分これは高田10地割の住宅だったところだと思うのですが、これいつごろ予算成立して、いつから使えるようになる予定でしょうかお伺いします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 吉田住民課長。

○住民課長（吉田 徹君） この補正予算が成立後に申請いただければ使えるというふうに理解しております。よろしくお願いたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 昆秀一委員。

○（昆 秀一委員） 申請していないということで、申請してこの予算を補正しているのではないのでしょうかお伺いします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 吉田住民課長。

○住民課長（吉田 徹君） お答えいたします。

コミュニティ整備事業として集積所のほうの予算申請した上での予算措置だと思いますけれども、実際それとは別に住民課のほうに今後設置の協議という形で確認をさせていただいてから、実際例えば危険な場所でないとか、そういうのを確認した上で進めていくような形になりますので、よろしくお願いたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） よろしいですか。

（「わからないけど、いいです」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 川村よし子委員。

○（川村よし子委員） 3点あるのですけれども……

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 1点ずつお願いします。

○（川村よし子委員） まず1点目なのですけれども、一般会計の補正なのですけれども、消費税増税の件も含めての一般会計の補正ですね。それで、国の対策ということで保育のこともありますけれども、一般会計からの支出は、国からの補填と比較してどのくらいの支出になっているのでしょうかお伺いします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 済みません、もう一回趣旨を。

○（川村よし子委員） 消費税増税に合わせての補正でもありますけれども、保育の件で、保育料無料として国からの補填もありますが、一般財源として矢巾町の基金からの切り崩しとかも含めて割合としては、国からの補填と基金からの補充と、どのくらいの割合になっているのかお伺いします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 国と矢巾町の負担はどのくらいなのかという部分。

（「はい」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 浅沼福祉・子ども課長。

○福祉・子ども課長兼子育て支援センター所長（浅沼圭美君） お答えいたします。保育の無償化のことにに関して私のほうからお答えいたします。

保育の無償化に関しましては、今年度については、国10分の10で行う予定となっておりますが、この子ども・子育て臨時交付金として交付される見込みです。

それから、6月補正に関しましても、障がいのシステムに関して改修がございますが、それも国庫支出金として10分の10で計上させていただいております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 川村よし子委員。

○（川村よし子委員） 2点目は、ページ数で17ページになりますが、介護保険の低所得者の負担について対象者はどのくらいで、そしてどのくらいの割合なのかお伺いします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 田村健康長寿課長。

○健康長寿課長（田村英典君） お答えいたします。

全体の人数で第一段階から第3段階までの総人数ですが1,498人になります。全体の被保数で比較いたしますと21.92%ということになります。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 川村よし子委員。

○（川村よし子委員） 3点目は、ページ数で20ページ、矢幅駅前のやはば一くの前のおねむの木公園のことではないかなと思うのですけれども、工事というか、どういうふうなおねむの木公園をつくろうとしているのかということで、この予算がこのことなのかお伺いします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 佐々木道路都市課長。

○道路都市課長（佐々木芳満君） お答えいたします。

この修繕料につきましては、矢巾ショッピングセンターの中のせせらぎのポンプがちょっと点検の結果故障が発覚いたしましたので、そちらのほう毎年水を楽しみに子どもたちが遊

んでいる場所になりますけれども、そのポンプの修繕という形になります。

委員が仰せのねむの木公園につきましては、地元とあと町のほうで維持管理を行っておりますが、今ちょっと木とか、高木がちょっと枯れた部分とかもありますので、そういったところに関しては、剪定をしながら木をつくり込んでいくというような形で今維持管理のほうを進めております。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 川村よし子議員。

○13番（川村よし子議員） 今度の予算の修繕費は、ポンプの修理ということで、これはマックスバリューとか、あっちの方向のポンプということでわかりました。わかりましたけれども、今実際、この予算には載っていなかったのですけれども、矢幅駅前のやはぱ一く、今砂利を全部取り除いているのですけれども、どういう、今答弁では、枯れ木というか、枝を剪定するとかという話なのですけれども、あそこのコンクリートのせせらぎ道路、せせらぎというのですか、ちょっとドブみたいな感じに受けるのですけれども、みんなが心配しています。矢幅駅前ののに、どうしてこういうふうなまちづくりをするのだらうという。ホテルのいるまちづくりとか、いろいろありますけれども、今やっている工事の内容をここで予算にはないのですけれども、質問させていただきます。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 佐々木道路都市課長。

○道路都市課長（佐々木芳満君） お答えいたします。

やはぱ一くの東側を南北に流れているせせらぎ水路なのですけれども、ここは春から夏にかけて暖かくなってくると、今コンクリートの水路になっているのですが、その下のところに砂利を敷いております。その砂利に地下水とか、そういうものでもないのに、水道水でもないのに、やはり藻が発生するのです、暖かくなってくると。それを定期的に掃除をしているのですが、なかなかやはり掃除してもすぐやはりまた藻が生えるというような状況になりましたので、ここはその下に敷いている碎石を一旦除去して掃除をしやすいようにしてやるということで砂利を撤去している工事を行っているものです。

どうしても昔の上堰水路に流れていた農業用配水だとかというところの水を使っているものですから、どうしてもそういう藻が発生するという状況になりましたので、碎石を除去して掃除をしやすくするというところを目的としております。

その状況を見据えながら、今後はどのような形につくり込んでいくかというところを再検討しながら整備を行っていきたいというふうに考えております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） よろしいですね。

（「はい」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） そのほか質問ありますか。

藤原梅昭委員。

○（藤原梅昭委員） 四、五点ちょっと確認したいのですが、まず1つは、歳入の一般寄附金、これなのですが、まずその200万円の寄附が具体的にどこからという形で入ったのかということが一つです。

それから、ふるさと納税、前期14億円ほど納税していただいたわけですが、今期4億円ぐらいの予算で進んでいるわけですが、その進行状況、それから見通し、そのまず2点、歳入のほうでお伺いします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 佐藤総務課長。

○総務課長兼防災安全室長（佐藤健一君） 一般寄附金の内容でございますけれども、株式会社カガヤのほうから頂戴しております、200万円ということになります。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 吉岡企画財政課長。

○企画財政課長兼未来戦略室長（吉岡律司君） ふるさと納税の件についてお答えいたします。

今年度は4億円という形で見積もりをさせていただいておりますが、今年度に入りまして、現在のところ4,200万円ほどのご寄附をいただいているところでございます。総務省の見直し等がございまして、5割以内に全てのものを抑えるということになりまして、また見直しを全行っておりまして、その基準を満たすようにしております。その寄附が見直しを行いましたところ、やはり寄附額の推移というのは非常に低くなってございます。今後何らかのさらなる努力をしながら寄附を集めて矢巾を応援していただこうと思っておりますので、よろしく願いいたします。

（何事か声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 吉岡企画財政課長。

○企画財政課長兼未来戦略室長（吉岡律司君） 見通しにつきましては、制度見直し前であれば、順調に4億円は確保するという見通しでございましたが、現在は非常に4億円ぎりぎりかなというようなところで見込んでいるところでございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 藤原梅昭委員。

○（藤原梅昭委員） 非常にカガヤさんから200万円いただいたということですが、ぼっとカガヤさんからで、それだけですか、答弁は。どのような意味合いでいただいたとか、もう少し親切に丁寧に答弁していただきたいのですが、何か理由があったのですか。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 佐藤総務課長。

○総務課長兼防災安全室長（佐藤健一君） 特定寄附ではございませんで、矢巾町の町政のほうに使っていただきたいということでの一般寄附金ということでの200万円でございます、その用途につきましては、今回歳出のほうで計上させていただいてございますけれども、夏まつりと秋まつりのほうに100万円ずつそれぞれ充当させていただいているというところでございます。よろしく願いいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 藤原梅昭委員。

○（藤原梅昭委員） ありがとうございます。

いずれ答弁ももう少し詳しく。我々もやっぱりこの前も話したけれども、責任と権利があるわけですから、ひとつお願いしたいと思います。

それから、歳出のほう、ここのところで3点確認したいのですが、一つは18ページの健康チャレンジ事業、これがマイナスに、もう今からマイナス213万1,000円になっているのですが、なぜこれマイナスになっているのか確認したいです。

それから、20ページ……

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 1点ずつお願いします。

田村健康長寿課長。

○健康長寿課長（田村英典君） お答えいたします。

健康チャレンジ事業、委託事業といたしまして当初予算では総額予算852万3,000円で計上させていただいてご議決いただきました。ただこの中の委託料の中に活動量計、それから測定する機械、備品関係もあわせた予算内容となっております。そういった中で、やっぱり備品関係や活動量計についても委託という考え方は、ちょっとまずかったのかなということで備品と活動量計は、いわゆる役場でいうところの財産、備品財産になりますので、その部分は、別に町から直接発注して財産管理をするということで、その部分を委託から除きまして、直接発注して管理するという考え方にさせていただくということで、その分の94万7,000円と備品管理82万7,000円、これを別立てでやらせていただきたいということで今回整理させていただいているということでございます。よろしく願いいたします。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 藤原梅昭委員。

○（藤原梅昭委員） ということは、それは別なところで歳出で計上されるわけですか、その備品の購入については。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 田村健康長寿課長。

○健康長寿課長（田村英典君） お答えいたします。

ちょっと舌足らずで申しわけございませんでした。18ページに記載になってございまして、4款1項の1目でございますが、上のほうに消耗品費94万7,000円、それから4行目に移りまして健康チャレンジ用備品購入費82万7,000円、こちらのほうに△213万4,000円の部分を減額いたしまして、そこで整理させて起こさせていただいているという状況でございます。よろしく願いいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 藤原梅昭委員。

○（藤原梅昭委員） わかりました。あと次、20ページの交通安全施設整備1億4,000万円プラス270万円ということで270万円が補正されているわけですが、これは特別何か事情があった270万円でしょうか。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 佐々木道路都市課長。

○道路都市課長（佐々木芳満君） お答えいたします。

こちらの工事請負費については、医大の開院に向けてそれぞれ交通安全施設ということで歩行者と車両、それぞれに危険な箇所がないとか、あと交差点部のライン引きだとか、そういった部分に充てるということで今回補正を計上させていただきました。いずれ補正が成立後すぐ対応していきたいというふうに考えております。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 藤原梅昭委員。

○（藤原梅昭委員） わかりました。今後もそういう箇所がちょこちょこあり得ると思いますので、ひとつどこでどうなったのか、そこまで教えていただければと思います。

それから、同じページで南矢幅踏切の調査費ということで測量調査ですね、出ているわけですが、これは今後のスケジュールというのはどんな感じで考えているのでしょうか。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 佐々木道路都市課長。

○道路都市課長（佐々木芳満君） お答えいたします。

南矢幅踏切の西側のほうに歩道がないということで今回測量を進めていくということで考

えております。これにつきましては、測量の発注についてまず行いまして、概略の線形をまず考えまして、その後地元の説明会を秋から冬にかけての時期になろうかと思っておりますけれども、そのころに地元の説明会を行っていくということで考えております。それでは来年度以降用地あるいは工事というふうな形で進めていく予定であります。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 藤原梅昭委員。

○（藤原梅昭委員） いずれここは非常に混雑していて、子どもたちも大分通るような場所で両方とも歩道がないということでお互い、余計気を遣っているから事故は今のところないみたいなのですが、非常に危険な箇所ですので、早急に対応していただきたいと思うのですが、あと両側に家が建っているのです、あそこは。そういう意味では、少し早目、早目に、もうここを手をかけるぞと、そういうことをPRしながら、心構えを少し事前にやっておくというのも必要だと思いますので、その辺決まってからぼつっと言うのではなく、ここはもう危ないので、そういうことで検討していますということでPRも兼ねて我々からも話はしますけれども、ひとつお願いしたいなと思っておりますけれども、その辺のご予定があれば。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 佐々木道路都市課長。

○道路都市課長（佐々木芳満君） ありがとうございます。両側に家が張りついているわけなのですが、今考えているのは、道路の北側のほうに歩道を設置していくというような形で検討しております。それで区間につきましては、踏切から西のほうに上がりまして、南矢幅公民館のところの交差点を駅西の区画整理したほうに向かっていくということで、その路線もやはり途中にごみ置き場があるのですが、そのごみの捨てる場所、区画整理してから、やはり交通量もふえているということで、そういったところも危険だという認識でいましたので、駅西の区域境のところまでまずもっていきなというふうに考えております。約400メートルになりますけれども、考えております。

数名にちょっと事前にお話ししている方も実際はいます。こういうふうに町では考えているということでちょっとお話しさせた経緯はありますので、そういったところを今後も委員さんからアドバイスがありましたように、地元との対話を進めていきたいというふうに考えておりますし、委員さんのほうからも声をかけていただけるということですので、それに関しては、大変感謝しておりますので、ぜひお願いしたいと思います。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 藤原梅昭委員。

○（藤原梅昭委員） ありがとうございます。ちょっと確認ですが、いま西側の開発地域のほうにもつなげるということですが、それは来年度中に工事の延長線上で続けてやるということですね、それが1つと。

それから、よくあそこは町外の人が来たときに、役場に行く道路の一つなのです。駅西のあそこの道路というのは。間違えて別な道路に入ってしまった、何回か脱輪事故を起こしている場所なのですが、これはお話しして立て看板を立てていただいたわけですが、非常にあの辺の役場に行く道筋も、この前も道路標識がさっぱりわからないという話もありましたけれども、あの辺も非常にそれこそ町外から入ってきて、この辺に役場があるだろうと思ってきているのがうまくつながっていないのです、標識が。そういうところも含めてちょっと今回の工事絡みというわけではないですが、見直しをかけてほしいなと思うのですが、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 佐々木道路都市課長。

○道路都市課長（佐々木芳満君） ありがとうございます。まず工事に関しましては、説明会を行いまして、こういう線形でというところをご理解いただいた後に進めていくわけなのですが、まずそこの歩道を設置するというところのそもそも論なのですが、南矢幅踏切の拡幅も令和4年度から予定しているわけなのですが、その際に、両側にいずれ歩道があつてこそ踏切の拡幅があるというところになっていますので、そういったところから今回、当然交通量もあつて、歩行者も当然歩いているので必要な路線ということは認識しております。そういう観点でまず進めていくことにしておりますので、踏切側から工事は進んでいくものというふうに考えます。

やはりなかなか単年度といいますか、数年かけながら駅西の区域境のほうまで向かっていくのかなというふうに思っておりますので、ちょっとその辺は交付金を使いながらやりますので、そういった内示状況も勘案しながら進めていきたいというふうに考えております。

今その西側、踏切からのぼって行って西側のほうに行つて、広い交差点になっているのですが、あそこやっぱり事故も結構多いという認識をしております。なので、ちょっとその交差点もうまく、あんなに広くではなくて、ある程度もうちょっと狭くしながら車の通行に支障がないような形で計画していければなというふうに考えております。やはり交差点が広いと事故も多いというのは、全国的なものですので、そういったところも勘案しながら進めていく予定にしております。

それでその役場までの間違っただけのほうに入ってくるという車もあるということで、調査した結果、何やらナビによってそこを案内するというようなことも何かあるようですので、ただその後立て看板を立てさせていただいて、少しは減ったかなというふうな形で考えておりますが、その後1回状況を確認しましたが、今のところは来てないよということで確認しております。

あとは、標識の件も歩道設置の工事にあわせてそういった部分も看板で案内するのもケアしていきたいなというふうに考えております。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） よろしいですね。

（「はい」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） ほかに質疑ありますか。

赤丸委員。

○（赤丸秀雄委員） まず11ページのこれは衛生費の関係でちょっとお聞きします。私、これ聞いたとき、風疹の予防の話をされていたようですが、これってもし風疹であれば、昨年、一昨年、ちょっと全国的な流行というお話もあったのですが、町内での風疹の状況とか、その辺の数値つかんであれば、情報的にお願いしたいと思います。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 田村健康長寿課長。

○健康長寿課長（田村英典君） お答えいたします。

町内で風疹の発生という状況はございません。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 赤丸委員。

○（赤丸秀雄委員） それでは、この11項目の件の部分は、何の説明、私勘違いして聞いたような感じですが、その辺と。

それから、19ページの部分でちょっと関連としてお聞きしたいのですが、先日町長が菜の花畑のイベントのとき、キャンプ場のトイレのお話しされていました。キャンプ場のトイレについては、誰もがやっぱり使うためには水洗化という部分が必要かと考えますが、その辺の町の考え方、計画的な部分についてのお話を聞きたいと思います。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 1つは感染予防の件ですよ。田村健康長寿課長。

○健康長寿課長（田村英典君） お答えいたします。

本年度、さきの議会でもご報告いたしました。風疹の対策ということで昭和37年4月2

日から昭和47年4月1日までの方で生まれた男性の方に対しての風疹の抗体の検査、それから抗体検査が陽性だった方に対してはワクチンの接種ということで、今年度に限っては、ワクチン接種の可能性が低い男性だろうと思われる年代を国から指定されまして、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日までの、要するに40歳から47歳の方、町内では1,423名の方がいらっしゃいますが、その方に対しての風疹の抗体検査、それから該当者には風疹のワクチンの接種ということの費用ということになってございます。これについての国の2分の1補助ということで歳入の予算計上ということになっております。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 菅原産業振興課長。

○産業振興課長（菅原弘範君） 2点目についてお答えをいたします。

キャンプ場の水洗化につきましては、担当課であるうちのほうでもいろいろ検討しておりまして、特にあそこの場所、人数が少ない稼働であっても、やっぱりいっぱい来るという前提からすると、例えば合併浄化槽を設置する場合に、100人槽程度ぐらいの大きさがやっぱり必要だというようなお話も保健所等々と協議したときに言われております。そうしますと、正規なものをつくれれば数千万円かかるというようなところも出ていますので、ちょっとそれだとなかなか厳しいなということで今現在の状況になっておりますが、この間の一般質問で町長答弁したように、正規の合併浄化槽でなくても、頻繁にくみ取りできるような形のものも例えば簡易水洗みたいな形も含めてちょっと内部で調整した上でできれば予算を協議していきたいなというふうに考えています。

できれば、早急にそういった取り組みをしていきたいということで考えておりますので、よろしくをお願いします。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 赤丸委員。

○（赤丸秀雄委員） キャンプ場のトイレについてはわかりました。

申しわけありません。田村課長のお話の中で1,423名の該当者がいるという話で2分の1助成という形になるのですが、これどれぐらいの経費がかかるのですか。今は本当にテレビ等の報道を見れば、お金を払ってまでなかなか接種しないみたいな、特に男性であれば、妊娠した方が風疹になってというお話が主になっていまして、その男性がという部分がなかなか自覚されていないというところもあって。ましてお金まで払ってという話になれば、2分の1負担ということは、個人的にはどれぐらいかかるのか、そこをちょっと教えていただきたい

いと思います。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 田村健康長寿課長。

○健康長寿課長（田村英典君） お答えいたします。

当初予算の中での予算計上させていただいておりますのが抗原抗体反応、それから予防接種のワクチンのお金ということで、これが701万8,400円分は予算計上させていただいております。それから、今回は抗原抗体反応の委託に係るクーポン券の発行だとか、それから検査料だとかというもののお金で総額が今回補正予算の計上させていただいているものが443万6,000円という部分になってございます。本人負担については、国庫補助になっていきますので、両方とも個人負担はございません。たくさんの方々に受けていただいて、周りに影響があるものでございますから、周知させていただくとともに、クーポン券も既に発送させていただいております。なるべく受けていただくように努力させていただきたいと思っております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） よろしいですね。

赤丸委員。

○（赤丸秀雄委員） 今回の答弁についてはわかりました。

もう一点、21ページの学校のパソコンのOSの話が出ておりました。これというのは、今回やれば全部6小中学校の部分のパソコンについては対応が終わるということなのでしょうか。その辺、ちょっとお聞きしたいと思っております。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 田中館学務課長。

○学務課長（田中館和昭君） お答えしたいと思います。

今回予定しているのが不動小学校の授業用のパソコン、それから教員用のパソコン、それから煙山小学校の教員用のパソコンをまず今回の補正予算の中で取り組ませていただきたいと思います。

それから、あと徳田小学校と矢巾東小学校の教員用のパソコンもウィンドウズ7がまだ残っておりますので、これも今後予算をお願いしながら更新のほう進めさせていただきたいと思っております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） よろしいですね。

（「はい」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） ほかに質疑ありますか。

川村よし子委員。

○（川村よし子委員） ページ数で20ページから21ページにかけての住宅管理事業の工事請負費の説明をお願いいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 佐々木道路都市課長。

○道路都市課長（佐々木芳満君） お答えいたします。

21ページの8款土木費の工事請負費ですが449万3,000円、こちらは三堤住宅の改修時点では、南側の窓に網戸を設置しておりましたが、北側のほうがやはりないということで風通しがどうしても悪いということで北側のほうに網戸を設置する分の96戸分の網戸の工事請負費になります。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） よろしいですね。

川村よし子委員。

○（川村よし子委員） 町営住宅は240軒余りあるのですけれども、三堤住宅の94戸をやると、全部終わるのですね、その網戸の設置は。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 佐々木道路都市課長。

○道路都市課長（佐々木芳満君） お答えいたします。

全部ではないですけれども、残っているのは、矢巾住宅と高田住宅、高田住宅に関しても若干入っている部分もありますけれども、その2つに関しては、ちょっと窓に網戸がついていないという場所があります。ほかは、改修を行ってきた中で一緒に設置しておりますので。あと今年度予定している風張住宅の半分ぐらいの11戸、こちらがまだ設置されていないということですが、風張住宅は今年度改修工事に入る予定にしておりますので、そこは解消されると思います。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） よろしいですね。

（「はい」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） ほかに質疑ありますか。

山崎委員。

○（山崎道夫委員） 15ページの企画費について、これ2点ありますので、まず1つは、地域おこし協力隊の募集広告の委託があります。それから、同じ地域おこし協力隊の備品購入もあります。今恐らく2人だと思っておりますが、3人でしたか、3人。さらに募集をかける

ということですが、その地域おこし協力隊ですので、いろいろなイベントとか、町の魅力発見とか、いろいろ努力されているようですけれども、現在行っているイベント等の彼らの仕事と、それからこれからまた募集するということですので、その目的等をお知らせ願いたいと思います。これが1点。

それから、もう一点、同じ企画費ですが、事業等組合の土地購入7,600万円あるのですが、今たしか自動車業をやっている方というか、この会社に駐車場で貸していると思いますが、引き続き恐らく土地購入しても、今の事務所なんかは解体をしようけれども、その後の使い道、駐車場は恐らくそのまま使わせると思いますけれども、その使い道等で今考えられているのがあれば、お知らせ願いたいと思います。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 吉岡企画財政課長。

○企画財政課長兼未来戦略室長（吉岡律司君） お答えいたします。

まず企画費の協力隊の部分につきましてですが、現在3名の協力隊のところ、まず最終的には6名ぐらいまでふやしたいなというふうに思っております。現在イベント等の企画であるとか、町の魅力を掘り起こして発信する、あるいはそういうデザイン的なものをつくって、PR部門の一助にしていくというふうなことを協力隊は行っていただいておりますけれども、引き続き協力隊には、外からの目線で矢巾町の魅力を発信するような取り組みあるいはまたイベントを企画し、なおかつその延長線上で本町にずっと住んでいただいて、そして町を盛り上げていただくような人材を募集したいと思っております。

したがって、どの項目ということに限定することではなく、来ていただける協力隊の得意分野、そして得意分野を生かしていくような形で町の中に入っていただき、そして協力しながら町を盛り上げていくような取り組みをしたいなと思っております。それがまず協力隊の募集目的となります。

2点目の事業等組合の土地の購入費でございます。この7,600万円につきましては、流通センター南一丁目3の8といったところの、今ちょうど事務所があるところになります。この事務所になりますところにつきましては、建物等が建っておりますので、このお金を使いまして、事業等組合のほうでは建物の解体などをするのではなくて、その建物が残った部分になりますので、その使い方といたしましては、最終的に駐車場で今貸しているところがあるというふうなお話ございましたけれども、そちらにつきましては、敷地内のものについては、現状処分するというような形になっておりますので、駐車場用地になっているところにつきましては、今後確認させていただきまして、7月2日に事業等組合の議会がございま

す。その中で今後どのようになっていくのかという議論がされるものと認識しております。

以上、答弁とさせていただきます。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 山崎委員。

○（山崎道夫委員） 今の話だと、この会社が事務所、いわゆる事業等組合の事務所があるところは解体されるでしょうけれども、その使い道もまだ議会の中で審議するというか、ということになっていくのか。そうだとすれば、それはそれでその結果をお知らせ願えればいいのですが。あとはずっと前から貸しているところについては、そのまま貸すということの認識でいいのですか、そこをまず確認したいと思います。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 吉岡企画財政課長。

○企画財政課長兼未来戦略室長（吉岡律司君） 申しわけございませんでした。ちょっと答弁が違っていったような感じがしまして申しわけございません。この処分する部分につきましては、町といたしましては、購入いたしまして、それを売却する予定で考えております。今貸している駐車場のところにつきましては、ここは売却に向けて交渉をしている最中でございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 山崎道夫委員。

○（山崎道夫委員） いずれ売却をするという方向性で今進めているということですので、それは結構な面積ですので、何社かと折衝しているということですか。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 藤原特命担当課長。

○特命担当課長（藤原道明君） 正式な交渉とかという次元にはまだ至らないです。組合の議会で明確に方針を決定しないとできないものですから。ただ問い合わせは私のほうでも情報として持ち合わせておりますし、あそこは公募とかという方法でもし出したとすると、極めて需要が高いので、複数社の手が挙がるものと思われれます。

以上です。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） よろしいですか。

山崎道夫委員。

○（山崎道夫委員） 協力隊については、6名ぐらいまでふやしたいということですが、今回何人募集するのか。

それから、住んでもらえるということですので、今いる協力隊の皆さんが協力隊を卒業したときに、例えば起業するとか、あるいは現在矢巾町内にあるどこかの会社に再就職すると

か、そういうふうなことになっていく可能性があればいいのですが、その辺の見通しというのは、今現在はあるのでしょうか。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 吉岡企画財政課長。

○企画財政課長兼未来戦略室長（吉岡律司君） お答えいたします。

協力隊のほうには聞き取りをしておりますし、毎朝実は私ども企画担当のほうと情報交換をしているところでございます。聞き取りをしますと、できれば矢巾町内にこのままいて、そして小料理みたいなものを提供したいだとか、そういう希望がある隊員もございまして、あるいは今持っているデザインの能力を使って起業していきたいなというような意向もあるというふうに認識しているところでございます。

いずれにしてもそのような夢をかなえてあげるような形で私たちも全力でサポートしなければいけないなと思っておりますし、あとは地域の皆さんに温かく育てていただきたいなと思っているところでございます。

募集につきましては、今3名でございます。6名というお話をしましたので、あと3名募集したいなというふうに思っております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） ほかに質疑ありますか。

昆秀一委員。

○（昆 秀一委員） 18ページの健康チャレンジ事業についてちょっとお聞きしたいのですが、6月10日で今年度の健康チャレンジ募集、締め切りになったと思うのですが、この募集状況についてお伺いいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 田村健康長寿課長。

○健康長寿課長（田村英典君） お答えいたします。

6月10日、締め切りということですが、随時まだ受け付けはしてございます。昨年度までで226名の方々が参加していただいております、今後170名、今年度中目指して、合計大体400人程度を目指しているということで、一応締め切りは6月10日となっておりますが、7月においてもまだ継続的に募集を続けてまいりたいということで、なおつけ加えてご説明いたしますが、ことしから活動量計、現在白いものなのですが、矢巾カラーということで緑のものも準備させていただいておりますので、そういったものも7月から申し込まれた方について

は、対応できますので、やっていきたいと考えてございますので、随時やらせていただきます。よろしくお願いいたします。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 昆秀一委員。

○（昆 秀一委員） あともう一点、健康チャレンジに関してなのですが、今170人募集しているということで、前回の部分も引き続きということでよろしかったでしょうかお伺いします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 田村健康長寿課長。

○健康長寿課長（田村英典君） お答えいたします。

ご指摘のとおり、引き続きチャレンジしていただいでということで継続してやっていただくということで我々も取り組んでまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） ほかに質疑ありますか。

（「なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） なしの声がありましたので、これをもちまして付託を受けました議案第67号 令和元年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の全体質疑を終わります。

日程第3 補正予算議案の審査報告書について

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 日程第3、補正予算議案の審査報告書についてを議題といたします。

付託を受けました議案第67号 令和元年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）に対する審査報告書の取りまとめであります。

お諮りします。この後、休憩中にこの場において、補正予算議案の可否を含めて附帯意見等の取りまとめを行いたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 異議がないようでありますので、この後、この場において附帯意見等の取りまとめを行いたいと思っております。

ここで暫時休憩いたします。

高橋町長ほか参与の方々には退席されて結構でございます。

午前 10 時 57 分 休憩

午前 10 時 59 分 再開

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 再開します。

お諮りします。

委員会として補正予算議案の可否について起立により意思決定をしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 異議がないようなので、そのようにいたします。

これより採決を行います。

議案第67号 令和元年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）についてを可決するものとするに賛成の委員の起立を求めます。

（賛成者起立）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 起立多数でございます。

起立多数でありましたので、議案第67号は可決するべきものと決定いたしました。

お諮りいたします。この後休憩中にこの場において附帯意見等の取りまとめを行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） ご異議がないようなので、この後、この場で審査報告書の取りまとめを行います。

ここで休憩します。

午前 11 時 00 分 休憩

午前 11 時 33 分 再開

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） それでは、再開いたします。

ただいま各委員から出されました附帯意見等を参考に補正予算に対する報告書の草案を作成いたしました。今からその草案に対してご意見をお受けし、成案にしてまいりたいと思います。

ただいまから草案を職員に朗読させます。なお、朗読は本分のみとさせます。

（職員朗読）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） このように取りまとめをしました。

質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） なしの声、はい。藤原梅昭委員。

○（藤原梅昭委員） 4番目の夏まつり、秋まつりというのは、春まつりはなぜ入れなかったの、終わったから。ああそう。次以降の、次回以降の予算編成のことをこれはいつているわけだから、春、夏、秋と入っているのではないの。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 実は、今回の補正予算の夏まつりの分が出てきたのですけれども、今度秋まつりの部分の補正もきっと出てくると……

（何事か声あり）

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） 入っていた、2つ入っていたから、そのことに対する一応審査報告書、附帯意見ということなので、今度予算のところでもまた出てくるのであれば、そういう附帯意見をつけたいと思いますし、あくまでも補正予算に関しての附帯意見ですので、そこをご理解いただきたいと思いますので、よろしくお願いします。よろしいですか。

藤原委員。

○（藤原信悦委員） 2番のところの表現ですけれども、道路標識及び案内看板についてと書いていますけれども、ここのところは皆さんの議論の中で出てきているのは、役場とか公共施設の案内看板であって、道路標識については町独自で動けない部分もありますので、知りたいのは公共施設への道順がわかるようにしたいということであれば、はっきりと町内の公共施設の案内看板についてというふうに表記されたほうがよろしいのではないのでしょうか。

○予算決算常任委員長（廣田清実委員） そのことにつきまして皆さんの意見は、確かに道路標識については町独自ではできないという部分が確かにありますし、道路標識の要望も含めたということだったと思いますので、そこに道路標識の要望及び町内施設案内看板についてというふうに具体的に書いたほうがいいのですね、皆さんはどうでしょうか、その意見。

山崎委員。

○（山崎道夫委員） 公共施設がもちろん入っているのは間違いありません。それはそのとおりですが、町道にないわけです。県道とか国道にあります。入ってきてからの町道に全くそれが見えないわけです。だから、その調査をして早急に整備されたいというのは、町としてやってほしいということだから。県とか国とかの部分だと、これはある程度協議してやらなけ

ればならないわけですがけれども、町としてやるべきことをまだやっていないということだから、だから公共施設入れてもいいですけれども、そこは町としてやるべきことをしっかりやってほしいということで附帯決議ですので、そこを主に今までの附帯決議は、町としてやってほしいということでやってきておりますので。

- 予算決算常任委員長（廣田清実委員） そうすると、よりわかりやすく町道について道路標識及び公共施設の案内看板についてというふうに変更しますか。

（何事か声あり）

- 予算決算常任委員長（廣田清実委員） 皆さんの意見をもう一度お聞きいたします。
高橋委員。

- （高橋七郎委員） 内容的にはこれで役場の方々は十分わかると思いますので、この状態がいいと思います。

以上でございます。

- 予算決算常任委員長（廣田清実委員） そのような意見も出ましたけれども、まずこのとおりの文言でよろしいですか。具体的にはこちらのほうからも説明しておきますので、よろしく願いいたします。

それでは、お諮りいたします。この報告書を成案といたしまして議長に提出することに決定したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

- 予算決算常任委員長（廣田清実委員） ご異議がないようなので、この報告書を成案として議長に提出することに決定しました。

予算決算常任委員会に付託されました議案第67号 令和元年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の審査及び審査報告書の作成の一切を終了いたします。

- 予算決算常任委員長（廣田清実委員） 以上をもちまして予算決算常任委員会を閉会いたします。

大変ご苦勞さまでした。

午前11時41分 閉会